

平成 29 年 11 月 4 日

関 係 各 位

(一財)長野陸上競技協会 普及強化委員長 藤森 要  
同 ジュニア部長 (選手団監督) 酒井 剛

## 第 48 回ジュニアオリンピック 大会報告とお礼

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびは、ご多用中にもかかわらず、標記大会への選手、コーチのご派遣にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

お陰様をもちまして、10月27日(金)～29日(日)に日産スタジアム(横浜)で行われました第48回ジュニアオリンピック大会では、優勝1を含む5種目において入賞することができました。

また、自己新記録を8個記録するとともに、自己2番目3番目といった自己記録に近い記録を出した選手も多数おり、徐々にではありますが、大きな舞台で力を発揮できる選手が増えてきました。個々の成績については別紙をご覧ください。

「Team Nagano」を合い言葉に選手・コーチが一丸となって戦うことができました。競技がない時間は他の選手のサポートにまわったり、競技場に響き渡る大応援を繰り広げたりと選手団が「長野」の名の下に団結し精一杯の競技をすることができました。

このような成績を残せたのも、大会までの合宿及び本大会に快く選手・コーチを派遣して下さった関係各校の皆様、各校顧問の先生方や長野陸上競技協会の会員の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

各選手とも、成果と同時に課題も見つけることができました。入賞の陰には、自己新を出していれば入賞、決勝または準決勝進出などという選手も数多くいたのも事実であります。自分の力を大舞台で出し切れるよう、更に努力を重ねて参ります。

5つの入賞のうち、1,2年生が3つを数えます。次年度のジュニアオリンピックをにらみつつも、岡山全中にもこの結果をつなげ、入賞・自己記録更新を目指し、更なる強化策を進めて参ります。今後ともより一層のお力添えをお願いいたしまして、結果報告とお礼のご挨拶と致します。